

環境報告書

'20.6.26

総務部



2019年度の実績

1. 環境方針、環境目的及び目標の達成状況と順守評価

1) 法的及びその他の要求事項の順守評価の結果

(1) 公害防止協定の測定・報告⇒計画通り実施、問題無い事を報告済み

(2) 行政への報告⇒特になし

(3) 重要な環境側面の管理

・し尿浄化槽、構内放送、エアコン、排風機、切屑ホッパー、調整池、油倉庫、コンプレッサー、オイルコン
高周波焼入れタンク、焼入れ機、洗浄機、高速切断機、高速切断機、せん断機他⇒異常なし

2) 苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション(別紙 わが町日進とのふれあい参照)

(1) 地域住民との融和

① 学童通学時の交通安全指導・・・ゼロの日に年間18回実施(3月コロナウイルスにより未実施)

② 工場見学等の受入れ・・・職場体験学習東中5名、北中4名受入れ

③ 工場周辺清掃・・・毎月1回、年間12回実施

④ 地域イベントへの参加・・・日進市イベント参加、創立記念日に障害者施設子供招待、愛知池マラソン大会協賛

⑤ 地域行政への参画・・・日進市総合戦略委員会、日進市地球温暖化対策委員会へ参加



(2) 利害関係者からの苦情:なし

3) 環境パフォーマンス・目的及び目標の達成状況(別紙 CO2削減への取組み参照)

(1) 使用エネルギーの削減

・・・CO2排出量11,087tCO2(目標)に対し11,011tCO2(実績)で達成

(2) 資源の節約

・・・器具備品費、修繕費、工具費全て目標達成

(3) 廃棄物の削減とリサイクルの拡大

・・・ゴミ目標達成、廃油未達⇒UFBの利用で廃油削減を行う

(4) システムの有効性確認

・・・儲かるEMSを切り口に内部監査を1度(10月)実施

(5) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ実施

(6) 改善のための提案

・・・日々のトップマネジメントでフォロー実施

(7) その他(方針、目的・目標の変更等) ...特になし

次年度への課題

1. 環境マネジメントシステムの妥当性・有効性

・・・各会議体を通じて確認、フォローを実施している。監視・測定での不適合もなく、EMSが良好に機能していると判断する。

2. 継続的改善の機会

・・・高品質で生産性の高いスマート工場を目指す姿として、新規の033EヘアリングHSGラインより取り入れていく。

3. 資源を含むEMS変更の必要性

・・・EMSの変更は特にない。派遣社員に対しても社員と同レベルの教育を行い、洩れなく職務要件技能評価を行う。

4. 環境目標の達成

・・・法規制の順守、苦情ゼロへの継続的な取組み

ゴミ、廃油の目標達成のために、分別を徹底しリサイクルを増やす。

5. 戦略的な方向性

・・・20年度も「働きがい生きがいの追求」を目指す活動を継続し、「Good job Good team」をスローガンに顧客(地域の方)思考で顧客(地域の方)に喜んでいただける活動を推進する。

2020年度の計画

1. 生産性の向上

・・・生産性5%向上

2. 法規制の順守

・・・「届出」「報告」「測定」「許認可」業務の順守

3. 重要な環境側面の管理

・・・水質汚濁・騒音・廃棄物処理等の日常管理充実

4. 使用エネルギーの削減

・・・動力費5%低減、CO2の排出量削減

5. 資源の節約・廃棄物の削減

・・・工具消耗品費10%、修繕費5%低減

・・・廃油10%、ごみ5%削減、CO2排出量削減

6. 地域社会との融和

・・・地域社会行事への積極的な参加

とし、具体的には各部署のAPW計画にて明確にする

以上